

# 西播磨MaaS実装プロジェクト（播磨科学公園都市 [兵庫県 たつの市、上郡町、佐用町]）

## 地域課題に関する現状認識

- ・播磨科学公園都市（以下、「公園都市」と記載）は兵庫県西部に位置し、たつの市・上郡町・佐用町の3市町に跨る『**科学のまち**』
- ・公園都市ではバス路線はあるものの、公共交通空白地や運行本数の少ない地区も見られるため、**都市内を回遊できる端末交通**が必要
- ・公園都市は3つの自治体（たつの市、上郡町、佐用町）の行政界にあり、公園都市内で運行している各種バスの事業主体が異なるため、**自治体や交通事業者間の連携強化**が必要
- ・高齢者や学生、遠方から自動車以外で来訪する来訪者の公園都市内での回遊が不便であるため、移動サービス等の充実による**自動車（自家用車）への依存緩和**が必要
- ・公園都市を含む周辺地域（たつの市、上郡町、佐用町）では、高齢化が進展しており、移動も自動車が多いことから、自動車を使いつらくなった高齢者の安全・安心な移動手段を検討し、公共交通の利便性向上だけでなく、新たな移動手段も含めて**高齢者のモビリティ向上**を図ることが必要

＜公園都市の場所＞



## 実証実験の概要

### ①西播磨MaaSの構築

- ・複数の交通事業者、複数の自治体を跨いだ広域のデータ連携
- ・MaaSにより、移動手段の検索・予約・決済を一括で実施可能
- ・需要側の変容を促す料金設定（ダイナミックプライシング、サブスクリプション方式）

### ②シェアリング超小型EV

- ・公園都市内全域で実施（3カ所にポート設置）
- ・一部はワイヤレス充電



### ⑤高齢者支援交通

- ・超小型EVを活用した高齢者支援コミュニティ事業

### ③シェアリング電動キックボード

- ・SPring-8 構内で実施（4カ所にポート設置）



### ④自動走行カート

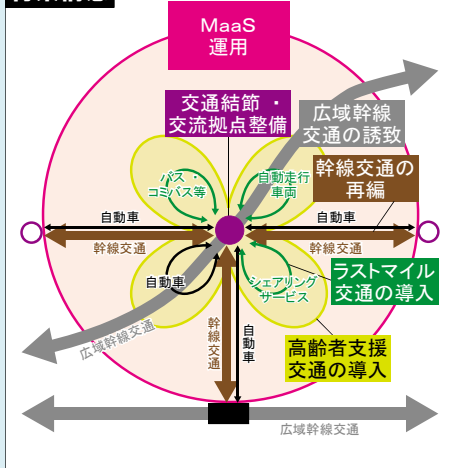
- ・居住地を予約に応じて運行



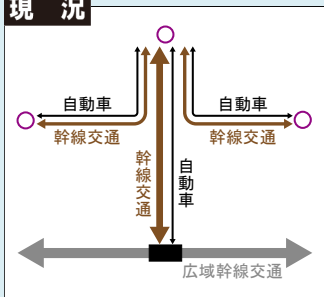
## 将来構想

・現在、主に自動車や幹線交通のみで任っている交通体系をラストマイル交通や幹線交通の再編により強化し、加えてMaaS構築により利便性を向上させることで、課題解決に取り組む。

将来構想



現況



## 実施体制

団体区分	団体名（実施内容・役割）
代表団体	神姫バス(株)（事業実施主体）
参加団体	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所、たつの市、上郡町、佐用町、兵庫県企業庁、兵庫県西播磨県民局、(研)理化学研究所播磨事業所、兵庫県立大学、(株)ウエスト神姫、(株)KDDI総合研究所、関西電力(株)、(株)社会システム総合研究所、(株)丸尾計画事務所